



平成 31 年 1 月 22 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 U M N フ ァ ー マ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 平 野 達 義
(コード番号：4585 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 財 務 部 長 橋 本 裕 之
電 話 0 4 5 - 5 9 5 - 9 8 4 0

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の事業動向等を踏まえ、平成 30 年 2 月 14 日に公表した平成 30 年 12 月期（平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日）の通期個別業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 平成 30 年 12 月期 通期個別業績予想数値の修正（平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	102	△803	△809	△810	△63 31
今回修正予想 (B)	103	△607	△610	△729	△55 12
増減額 (B-A)	0	196	199	81	—
増減率 (%)	0.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 12 月期)	104	△498	△158	△159	△12 96

2. 業績予想の修正理由

平成 30 年 12 月期において、売上高に関しては、塩野義製薬株式会社との提携に係るマイルストーンフィーを計画通り収受したことから、前回発表予想より変更はありません。一方、研究開発費に関し、消耗品及び外注費を中心に費用が減少、また一部費用の発生が平成 31 年 12 月期第 1 四半期にずれ込むこととなりました。一般管理費に関しても、コスト削減を積極的に推進したことに伴い費用が減少することとなりました。結果、営業利益及び経常利益は、前回発表予想より、それぞれ 196 百万円、199 百万円の損失改善となり、△607 百万円、△610 百万円を見込んでおります。当期純利益につきましては、平成 30 年 7 月 31 日付にて開示した秋田工場土地の減損に関する「特別損失の計上に関するお知らせ」、及び平成 30 年 10 月 31 日付にて開示した「ジカウイルス感染症ワクチン開発に関する基本契約解約及び特別損失の計上に関するお知らせ」に記載の通り、平成 30 年 12 月期において合計 116 百万円の特別損失を計上しておりますが、上記費用減等により特別損失の影響を吸収し、前回発表予想より、81 百万円の損失改善となり、△729 百万円を見込んでおります。

なお、今回の修正業績予想に基づく平成 30 年 12 月期末純資産額は、382 百万円となる見込みであります。

(注) 上記業績予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上